【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成17年6月9日(2005.6.9)

【公開番号】特開2004-121798(P2004-121798A)
【公開日】平成16年4月22日(2004.4.22)
【年通号数】公開・登録公報2004-016
【出願番号】特願2002-327573(P2002-327573)
【国際特許分類第７版】
　Ａ６３Ｈ　27/133
　Ｂ６４Ｃ　27/10
　Ｂ６４Ｃ　27/72
【ＦＩ】
　Ａ６３Ｈ　27/133　　Ａ
　Ａ６３Ｈ　27/133　　Ｄ
　Ｂ６４Ｃ　27/10
　Ｂ６４Ｃ　27/72

【手続補正書】
【提出日】平成16年9月3日(2004.9.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　互いに逆方向へ回転する上下のロータヘッドを同軸上に配してなる同軸反転式ラジオコントロールヘリコプタにおいて、
　棒体の両側に重りを装着してなるスタビライザーバーをマストの上端にマストに対して傾動自在に取り付けるとともに、
　当該スタビライザーバーを上側ロータヘッドのブレードに対して適宜な交差角度を保って当該ブレードと一体に回転し得るように取り付けて構成されたことを特徴とする同軸反転式ラジオコントロールヘリコプタ。
【請求項２】
　下側ロータヘッドのブレードと機体に設けたブレード傾動機構のスワッシュプレートとを連結し、前記スワッシュプレートを動作させて前記下側ロータヘッドのブレードの回転面を変化させることにより機体の移動方向が制御されるように構成されたことを特徴とする請求項１に記載の同軸反転式ラジオコントロールヘリコプタ。
【請求項３】
　ギヤードモータによってマストの回転軸の周りを当該回転軸と交差する方向へ移動自在に取り付けられたロワープレートと、ベアリングを介してロワープレートの中央開口部に装着されていてマストに対して傾動自在に連結されたブレードホルダとコントロールアームを介して連結したアッパープレートからなるスワッシュプレートを備え、スワッシュプレートのマストの回転軸と交差する方向への移動に伴ってコントロールアームがブレードホルダを傾動させるように構成された請求項１又は２に記載の同軸反転式ラジオコントロールヘリコプタ。
【請求項４】
　ヨー軸制御信号とヨー軸の角速度測定信号を比較し、その結果に基づいて上側ロータと下側ロータをそれぞれ駆動する基準パルスを切り替えて両ロータ駆動回路に出力するヨー

軸制御回路を備えた請求項１～３の何れかに記載の同軸反転式ラジオコントロールヘリコプタ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
【課題を解決するための手段】
前記課題を解決するため本発明の同軸反転式Ｒ／Ｃヘリは、棒体の両側に重りを装着してなるスタビライザーバーをマストの上端にマストに対して傾動自在に取り付けるとともに、当該スタビライザーバーを上側ロータヘッドのブレードに対して適宜な交差角度を保って当該ブレードと一体に回転し得るように取り付けて構成されたことを特徴とするものである。
また、本発明の同軸反転式Ｒ／Ｃヘリは、下側ロータヘッドのブレードと機体に設けたブレード傾動機構のスワッシュプレートとを連結し、前記スワッシュプレートを動作させて前記下側ロータヘッドのブレードの回転面を変化させることにより機体の移動方向が制御されるように構成されたことを特徴とするものである。